

RICEBALL SEMINAR 2019

様々な分野の先輩若手研究者が、自身が行っている研究内容の紹介、研究者の道に進んだきっかけや国際学会での発表体験、ラボでの日常などを発表します。発表内容を踏まえたフリーなディスカッションを通して、互いの理解を深め、この機会にみなさんの「研究」や「学び」に生かすとともに、大学院の魅力を再発見してみたいはかがでしょうか？

5/20 認知リハビリテーション 振り返り支援システムの開発

MONDAY
12:20

研究者の道に進んだきっかけ

大学院前期課程の時代に自身のやっていた研究が面白いと感じたこと、実際に研究で作ったシステムを使用してもらい、役に立っていることを実感したので研究者の道に進みました。

研究の内容

高次脳機能障害へのリハビリテーション(認知リハビリテーション)において、生活行動は高次の脳機能を使う課題が多く、リハビリテーションとしての効果が高い。本研究では、生活行動をターゲットとした一連の認知リハビリテーションシステムを開発し、そのシステムに必要な技術研究について紹介する。

大井翔 [情報理工学部 実世界情報コース 助教]

各日 12:20-12:50
立命館大学 びわこ・くさつキャンパス
コーニングハウスI C107

参加無料 [おにぎり・揚げもの付]

5/22 目標への意識は チームや個人の力を 本当に高めるのか

WEDNESDAY
12:20

研究者の道に進んだきっかけ

大学入学前から大学院進学を視野に入れていました。当初は心理系大学院への進学を考えていましたが、選手の心理的側面を研究し、支えたいと思い、本研究科に進学しました。

研究の内容

チームスポーツにおいて、チーム力を高めるうえで、個々人の意識やスキルを高めることは大切なことです。その中で、選手に対してどのような介入サポートが有効であるのか、またそれによってチーム全体に影響を及ぼしうるのかについて研究をしています。

平井稀花

[スポーツ健康科学研究科 博士前期課程 2回生]

5/24 ハツシュタグの多い 人生だからこそ、 ニーズに応える 応用研究を

FRIDAY
12:20

研究者の道に進んだきっかけ

もともとは研究者になるという心持ちで理系に入ったものの、大学ではビジネスやデザインに熱中。できることが増えた先に見えたものから、技術系の人間かつ、人付き合いの社会を生きるきっかけに。

研究内容紹介

自身が1回生のころからマイプロとして持っていた、水質・河川環境課題というテーマから掘り下げて、ICTテクノロジー・デザイン・ビジネス・SDGsなど様々な観点から学習を進めてきました。そしてアクアボニックスというシステムにであいました。今回はこの概要と未来予想についてお話します。

戸簾隼人 [生命科学部 生物工学科 4回生]

EVENT

エキスポーツ2019 くさつ・しがSDGs交流大会

日時 5/26 10:00-17:00

会場 立命館大学びわこ・くさつキャンパス
スポーツ健康モコノズ

SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)とは、2015年に国連サミットで採択された2030年までの国際目標です。「誰ひとり取り残さない」社会・地域をつくるためには、SDGs達成の第一歩として「みなさん」の参加が必要です。エキスポーツ2019では誰でも参加できるスポーツイベントやパラスポーツ体験等によって、SDGsについての理解を深め、自分でもできることを見つける機会を提供します。

ライスボールセミナー@エキスポーツ開催!

時間 11:15~12:15

会場 スポーツ健康モコノズ 2F ミーティングルーム



お問い合わせ

立命館大学 BKCリサーチオフィス
BKCライスボールセミナー事務局

TEL
077-561-3488

共催

立命館大学総合科学技術研究機構、立命館大学BKC社系研究機構、立命館グローバル・イノベーション研究機構

協力 経済学研究科、理工学研究科、情報理工学研究科、薬学研究科、生命科学研究所、スポーツ健康科学研究科

